

原著

- 膿瘍形成性虫垂炎・限局性腹膜炎に対する interval laparoscopic appendectomy
の治療成績久保浩一郎・他 ● 197
- 当院における腫瘍形成性虫垂炎に対する interval appendectomy プロトコルの
有用性の検討木下裕光・他 ● 206

症例報告

- 術前 ENPD チューブ留置が有用であった腹腔鏡下腓腫瘍核出術の 1 例梶山 潔・他 ● 214
- 腹腔鏡下摘出術が可能であった腹壁伏針の 1 例三輪武史・他 ● 222
- 腹腔鏡下に摘出した経皮経肝穿刺による腹腔内伏針の 1 例熊谷 祐・他 ● 227
- 繰り返す血便を主訴に発見され腹腔鏡下回盲部切除術によって切除しえた
回腸動静脈奇形の 1 例鎌田哲平・他 ● 233
- 虫垂炎術後 70 年経過して発症した盲腸皮膚瘻に対して腹腔鏡下盲腸部分切除術を
施行した 1 例中尾詠一・他 ● 240
- 直腸癌に対する腹腔鏡下手術後に発症した下肢コンパートメント症候群の 3 例 ...田原真紀子・他 ● 245
- バリウム後腹膜炎に対し腹腔鏡下手術を施行した 1 例岡 直幸・他 ● 253
- 胃石性小腸閉塞および胃石症に対する腹腔鏡下嵌頓結石除去ならびに胃壁切開の
経験藤井善章・他 ● 259
- 正中弓状靱帯圧迫症候群に対して腹腔鏡下正中弓状靱帯切離を行った 1 例
—術中 ICG 蛍光造影と術前後 4 D flow MRI の有用性森田剛文・他 ● 266
- 大動脈食道瘻に対して胸腔鏡下食道亜全摘術を行った 2 例新妻展近・他 ● 273
- 文献抄録星川真有美・他 ● 279

- 「日本内視鏡外科学会雑誌」投稿規定280 ●編集後記284
- 利益相反自己申告書兼投稿にかかる誓約書282